

平成28年4月14日

第20回留萌開発建設部総合評価審査委員会の審議概要について

平成28年3月9日（水）に開催された第20回留萌開発建設部総合評価審査委員会の審議概要を別紙のとおりお知らせします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部 電話 0164-42-2312
技術管理課 課長 国島 英樹 （内線 391）
技術管理課 課長補佐 今井 正欣 （内線 392）

第20回留萌開発建設部総合評価審査委員会概要

開催日及び場所	平成28年3月9日(水) 13:30～15:30 留萌開発建設部 第1会議室	
委員	蟹江俊仁 (北海道大学大学院工学研究院教授) 神谷光彦 (北海道科学大学名誉教授) 谷野賢二 (東海大学生物学部海洋生物科学科教授) (五十音順)	
審議対象期間	平成27年7月1日～平成27年12月31日	
議事次第	<ol style="list-style-type: none"> 留萌開発建設部が発注した総合評価方式による工事及び建設コンサルタント業務の実施状況報告 抽出工事及び建設コンサルタント業務の報告 抽出工事及び建設コンサルタント業務の審議 	
委員からの意見・質問、それに関する回答		
意見・質問	回答	
<p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> 留萌開発建設部 総合評価落札方式実施状況 抽出工事及び建設コンサルタント業務 <p>特になし</p> <p>【審議】 総合評価落札方式等の実施結果</p> <p>○一般国道40号 天塩町 天塩大橋橋脚工事 (一般競争入札(WTO)・総合評価 (技術提案評価型S型))</p> <p>入札説明書に書かれている「複数の提案を行った場合は、項目毎の先頭に記載している提案のみを評価する」という注意事項は、審査の際に考慮されているか。</p> <p>「給熱養生を伴う寒中コンクリートの品質管理に関する提案」で、養生方法に関する提案が評価されている。これは、入札説明書でオーバースペックの代表的な事例とされている「コンクリートのひび割れ防止対策」ではないのか。</p>	<p>審査の際に複数提案の有無も確認している。</p> <p>ひび割れ防止対策であっても、目的及び施工範囲が的確な場合はオーバースペックから除外する旨、入札説明書に書かれている。よって、ひび割れ防止に有効な施工方法で、過度の費用負担を伴わないものは加点评価している。</p>	

委員からの意見・質問、それに関する回答	
意見・質問	回答
<p>「2. 5気圧を超える圧気作業時の安全性向上に関する提案」で、様々な無人化施工が提案されている。それらの提案における無人化の程度の違いは審査の際に考慮されているか。</p> <p>「ニューマチックケーソン基礎掘削時の傾斜管理に関する提案」の他に、「傾斜した場合の対策に関する提案」も求めたのは、設問が矛盾しているのではないか。</p> <p>○深川留萌自動車道 留萌市 カモイワ高架橋上部工事 （一般競争入札（WTO）・総合評価（技術提案評価型S型））</p> <p>「床版コンクリートの品質管理に関する提案」の中に、養生方法がいくつも記述されていた場合は、どのように評価するのか。</p> <p>多くの参加者が「現場架設における品質確保」で提案した技術を、別の者は「架設作業の安全性向上」で提案している。記述箇所が違うために、同じ技術に対する評価（得点）が違っているのは、いかがなものか。</p> <p>どの提案項目も5段階で評価しているが、配点が多い提案項目を7段階程度に細分化して、加点要素1個当たりの得点幅を揃えてはどうか。</p> <p>設問が幅広になっていて、何種類もの提案が可能と思われる項目がある。複数提案を避けようとして抑制気味に記述した参加者が不利益を被るおそれはないか。</p> <p>入札参加者からどのような質問が寄せられて、それに対して発注者はどのように対応したのか。</p>	<p>完全無人化に適さない現場条件であり、どの提案も掘削作業の一部無人化である。よって、この工事では無人化施工に限定せず、有人作業の安全性にも着目して審査した。</p> <p>土質地盤と岩盤との境界面が傾斜している地層であることから、その境界でケーソンが傾斜する事態も想定して設問を設定した。</p> <p>同じ目的（養生）に対する提案は、複数記述しても1個でも、同じ評価にする。</p> <p>各提案項目の配点を入札説明書に明記している。どちらの項目で提案しても加点要素になり得る技術を、そのどちらに記述するかは応札者の判断である。</p> <p>審査労力の面から評価段階の細分化は難しい。</p> <p>どの参加者も一つの項目にいくつもの技術事項を記述している。そのため、この工事では一体性が認められる技術事項は一つの提案と見なしたが、今後は設問の見直しも検討したい。</p> <p>WTO工事において落札決定後に行う参加者との面談で最も多かった質問は、提案項目ごとの自社の得点である。そのため、ホームページで公開している得点一覧表をWTO工事は今年度から細分化して、提案項目ごとに得点を公表している。</p>

委員からの意見・質問、それに関する回答	
意見・質問	回答
<p>○国営農業用ダム 耐震診断検討業務 (標準プロポーザル)</p> <p>工程計画の評価で、減点されている者があるのは何故か。</p> <p>説得力と類似実績は、どの項目に対してどのように評価しているのか。</p> <p>業務理解度で、既存資料の検討を提案したA者とC者の記述には大きな差が見受けられないのだが、A者のみ加点されているのはなぜか。</p>	<p>打合せ時期と、照査時期の関連が的確でないと判断した。</p> <p>特定テーマにおいて、着目点・問題点・解決方法が評価された提案事項について、説得力が認められる記述と、データベースで確認された業務実績を評価している。</p> <p>このダムの建設年代に着目した検討方法を提案したA者の方が、一般的な検討方法を提案したC者よりも優れていると判断した。</p>
<p>○苫前漁港 施設整備検討業務 (簡易公募型プロポーザル)</p> <p>実施フローや工程計画の評価において、以前は加点評価されていた提案事項が、今回は評価されていないように見える。</p> <p>工程計画において、検討作業の順序を考慮せずに工程を定めたように見える者が、他者と同様に加点評価されているのは何故か。</p> <p>業務理解度及び実施フローで、加点評価されている者がほとんどいないのは何故か。</p>	<p>以前の審議対象業務で加点評価した理由は、その提案事項が設計変更の対象外だったからである。今回のこの種類の業務では設計変更の対象になっているため加点評価していない。</p> <p>この業務では、検討作業の終了時期に着目しており、11月と2月に予定している会議に間に合うように工程を定めた者を加点評価した。</p> <p>各社の提案が特記仕様書に記載されている内容と同程度であったため評価されていない。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>